

各関係機関長 殿

岡山県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報の発表

病虫害発生予察特殊報第 2 号を下記のとおり発表したので送付します。

平成 30 年度病虫害発生予察特殊報第 2 号

平成30年 11月 6日

岡 山 県

1. 病虫害名 キオビトガリメイガ *Endotricha flavofascialis* Bremer
2. 発生作物名 リンドウ
3. 特殊報の内容 リンドウにおけるキオビトガリメイガの加害を初確認
4. 初発生確認月日 平成 30 年 6 月
5. 発生確認場所 岡山県北部
6. 発生面積 約 10 a
7. 発生状況

平成 30 年 6 月に岡山県北部のリンドウ栽培ほ場において、株が萎凋・枯死する株が発生した（図 1）。根は激しく食害されており、ほ場内で薄紅色の蛾が飛翔する姿が見受けられた。この成虫を捕獲し、横浜植物防疫所が同定したところ、キオビトガリメイガ *Endotricha flavofascialis* Bremer であることが判明した。これまでに、本種の発生を確認している県は、大分県、山口県、岩手県、秋田県である。

8. 形態

成虫：前翅を開いた長さは、13～18mm、前後翅とも薄紅色で黄色の帯をとまなう（図 2）。
幼虫：体長は終齢幼虫で約 16mm。乳白色で頭部は茶褐色（図 3）。
蛹：体長約 8 mm。体色は茶褐色。

9. 生態及び被害

本種の年間発生世代数は 2～3 回と考えられ、成虫は 5～9 月に出現する。雌成虫は寄主植物の根際に少数の卵塊で産卵する。幼虫は常にリンドウの株元において、その根部を表面から穿孔して摂食し、土中で蛹化する。晩秋からは中齢～老齢幼虫で越冬する。

確認されている寄主植物は、リンドウ (*Gentiana scabra* Bunge) のみである。

10. 防除対策及び参考事項

- (1) 現在、本虫に対する登録農薬はない。
- (2) 被害株は株内や土中に生息する幼虫・蛹ごと掘上げ処分する。
- (3) 水田転換畑の多発ほ場においては、一旦水田に戻す等湛水処理を行う。



図1 ほ場での被害状況（6月）

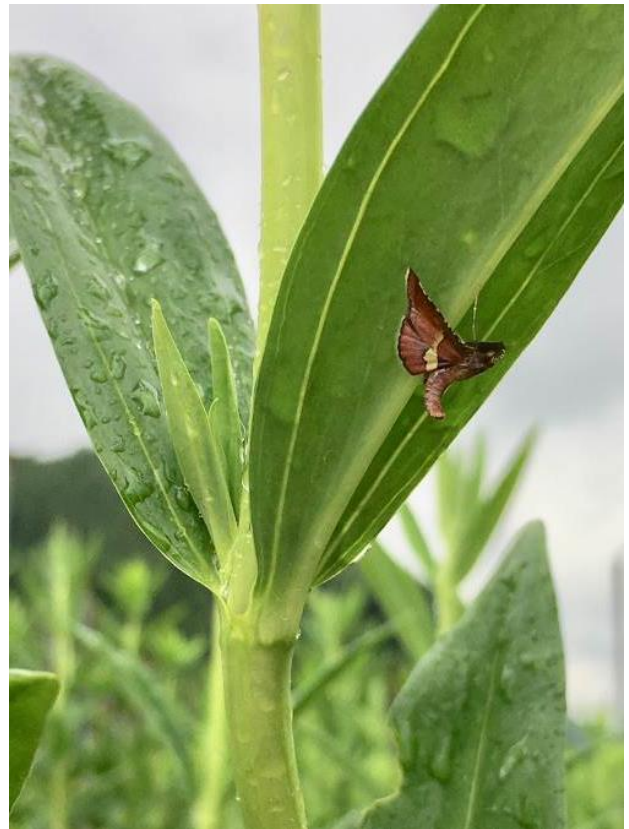


図2 キオビトガリメイガ成虫



図3 キオビトガリメイガ幼虫
（方眼は1mm 目合い）

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。アドレスは、
<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/> です。

